



小網代通信

2022年 9月号 VOL-291

発行：小網代ヨットクラブ
〒238-0225
神奈川県三浦市三崎町小網代 1385-18
編集：広報委員会
編集長：里吉美恵子
連絡先：office@koaziroyc.jp

今月の内容

- | | | |
|------------------|------------------|--------|
| ・連絡事項 | 編集委員 | 1ページ |
| ・「テティス4 横浜港に泊まる」 | 児玉 萬平 (THETIS 4) | 2～3ページ |

連絡事項 (編集委員)

浮き相模3号⇒



1. < KFR と小網代カップレース の案内 >

・8月 KFR 微風のためJコースからHコース(浮き相模3号往復コース)に変更。12艇参加で行われました。

・9月 KFR 9月18日(日) Fコース(予告信号 9:25 タイムリミット 16:00)予定。

・第60回 小網代カップレース

公示が掲載されました。9月1日からオンラインエントリー開始。
詳しくは、ホームページ「RACE レース」でご確認ください。

2. < 複雑な動きの台風にご用心！ >

今年の台風は、従来の台風の誕生過程と異なってきているようです。発生場所も日本に近づく日数も短くなっているとのこと。台風11号、8月28日に南鳥島近海で発生、急発達し、西に向い先島諸島で巨大化し停滞、方向転換して北上しながら沖縄、長崎、そして日本海へと進み9月6日に温帯低気圧と変わりました。

ほっとしたところで、また台風12号が発生したようです油断できません。



3. < 迷惑メールにご注意ください。 >

昨今、電子メールでの本物とそっくりの内容でお知らせが入ることが多くなっています。小網代ヨットクラブのロゴを使ったメール案内も届いています。発信していないのに未送信でした等、いかにも心配を誘うような文章、e-mail アドレスをしっかりと確認の上、ご注意ください。



【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 9月20日(火)20:00～ web 会議開催予定】

2022. 9月号-1

テティス4 横浜港に泊まる

テティス4 児玉萬平

小網代艇にとって、浦賀-保田のラインを越えて東京湾を北に向かう場面はそう多くはない。それでもベイサイドマリーナが出来てから、レースや整備を目的に同マリーナを訪問する機会は増えたが、そこを越えて横浜港本港やその先の夢の島マリーナ、浦安マリーナなどを訪問することなどは極めて珍しい事だ。テティス4は普段シーボニアで上架整備をしているが、今回は故あって夢の島マリーナでの上架を行うことになったため、8月末の週末に東京湾を北上することになった。

一方、この週末は大潮であり喫水が2.45mのテティス4にとって夢の島マリーナ前の荒川河口を通過できる時間帯は限られ、小網代からの直行コースでは夜間航行を強いられることになってしまう。急ぐ旅ではないのでこの際、横浜本港に泊まって時間調整をすることにした。またテティス4にとって、横浜本港は2019年末の日本-パラオ親善ヨットレースのスタート時点であり、「みなとみらい」前のパレードでは多くの艇に見送っていただいたこともあり、もう一度ゆっくり見てみたいとの思いがあった。



ハンマーヘッド入港前

横浜本港の停泊は、昔は岡本造船の棧橋か山下公園前の船溜まりと言われていたが、今改めて調べてみると、プレジャーボート用に停泊が許可されているのは、パシフィコココハマ前の「ぶかり棧橋」、大棧橋の「象の鼻棧橋」、赤レンガパークの「赤レンガ棧橋」、そして今年4月から利用が開始された「ハンマーヘッド岸壁(新港8号ビジターバース)」がある、前3か所は夜間泊ができないので、おのずから「ハンマーヘッド岸壁」の利用を申し込むことになった。

ここは横浜市営で、スーパーヨットの寄港を狙って商用岸壁からプレジャーボート向けに整備されたもので、長さは115m、水深はなんと8.4mもある、小型艇向けに岸壁を階段状に削り込んであるので着岸は容易だ。ハンマーヘッドは多くのレストランやショップが入った商業施設となっておりホテルも併設されている。商用岸壁時代のクレーンがモニュメントとして残され、その名をそのまま施設の名としたものだ。



岸壁の様子、鍵の付いた柵がある

泊地としての評価は・・・と問われれば、正直居心地はさほど良いわけでは無い、昼間はシーバス(港内連絡船)の発着があって引き波が入る、夜間は大きな波はないが大きな港特有の波動があって常に揺られている。南風・北風の双方を経験したが南風の方が静穏であった。岸壁側に大きなゴムフェンダー(30cm)があって小さなフェンダーでは間に合わない、そこで今回は板フェンダーを持参した。場所を選べば水道と陸電がとれ、人通りはあるが鍵付きの鉄柵があるので安心できる。利便性は抜群で、目の前がコンビニ、レストラン街、ブティック、近くに「万葉の湯」、バーベキューサイト・・・適当なレストランを選べば自艇を見下ろしながらゆっくり食事もできる。そしてなにより馬車道の駅まで徒歩 10 分なので、周辺観光を含めてファミリーサービスにもってこいだと感じた。



夜のレストラン街

料金は 12m以下の艇で 4000 円/1 回、一泊すると 2 回とされる。

参考までに舵オンラインの記事は以下の通り

<https://www.kazi-online.com/articles/hammerhead>



大棧橋停泊中の「あすかⅡ」

テティス4は結局ここで 2 泊し、更に港内見物をしてから、途中、羽田空港に続々と降下してくる着陸便を真下から見上げる迫力あるエンターテイメントを楽しみながら夢の島マリーナに向かった。

時間調整の結果はというと・・・

荒川河口では 20cm の余裕があったが、荒川からマリーナに向かう曲がり口で触底、フルスロットルで泥をかき分けて脱出、という仕儀になった。